



第80期 株主通信

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

ニチレキ株式会社

証券コード：5011

ニチレキグループ企業理念

基本理念 (種播き精神)

種を播き、水をやり、花を咲かせて実らせる
たゆみない努力の積み重ねによって絶えず新しい仕事を創造していきます。

経営理念

ニチレキグループは、「道」創りを通して社会に貢献するため、

- ▶ 優れた機能とコストを満足する道路舗装材料ならびに工法の提供
- ▶ 国民の共有資産である「道」をいつも見守る高度なコンサルティング
- ▶ 顧客から信頼される施工技術

これらを完全に一体化し、株主をはじめ幅広い顧客の皆様から信頼される「道」創りになくてはならない収益性に優れた企業グループであり続けるとともに、社員一人ひとりが能力を発揮でき、働きがいのあるグループであることを経営理念とします。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第80期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症に移行され、経済活動が次第に正常化する展開となりました。資源価格高騰や円安進行等による物価上昇というマイナス要因もありましたが、国内企業が高い賃上げ率を実現させる動きを見せたこともあり、我が国経済の先行きに対する強気な見方が広がったことから、日経平均株価が史上最高値を更新する等、景気のパロメーターとも言われる株式相場は総じて好調に推移してまいりました。ただし、2023年のドイツの実質経済成長率がマイナスとなる等、主要国の経済成長率は必ずしも高いものではなく、また、中国の景気に対する慎重な見方が一段と広がる等、依然として先行きの不透明感が払拭し切れない状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、防災・減災、国土強靱化対策など建設需要の高まり等を背景に公共投資は底堅く推移しているものの、2023年4月の統一地方選挙による発注遅延等の影響を受けました。また、名目ベースでの公共事業予算は相当額が確保されていましたが、工事単価上昇に伴う実質ベースでの伸び悩み、人手不足や2024年問題への先行対応等による工事進捗への影響、原油価格の高止まりや円安等による原材料高等、当社グループの事業にとって下押し要因となるものも多く、厳しい状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社グループは、迅速かつ的確な意思決定のもと、組織一丸となって持続可能な企業グループとして成長していくことを目指し、3年目となる中期経営計画『しなやか2025』に掲げた各施策に取り組んでまいりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月



代表取締役社長
小幡 学

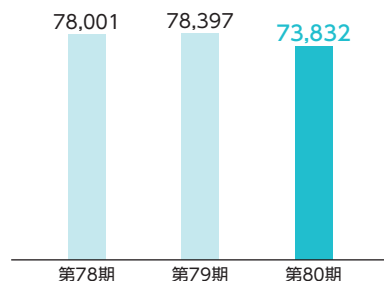
営業の概況

営業成績

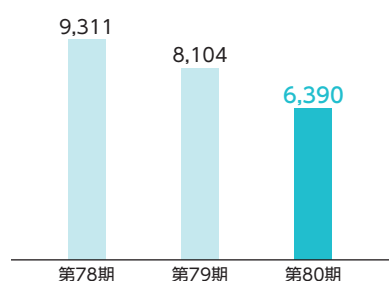
当連結会計年度の業績につきましては、長寿命の高付加価値製品の設計・受注活動やICT技術を活用した調査・工法などを推し進めてきた結果、売上高は73,832百万円（前期比5.8%減）、営業利益は6,019百万円（前期比20.4%減）、経常利益は6,390百万円（前期比21.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は4,488百万円（前期比28.6%減）となりました。

財務ハイライト

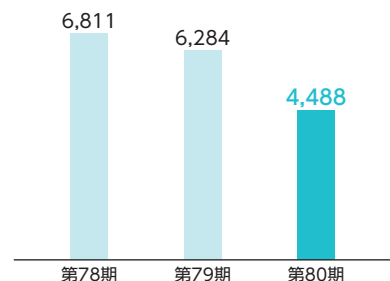
売上高 (単位：百万円)



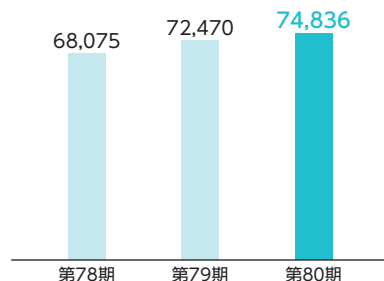
経常利益 (単位：百万円)



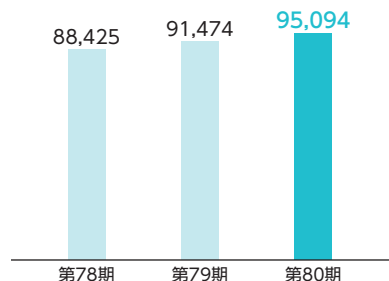
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



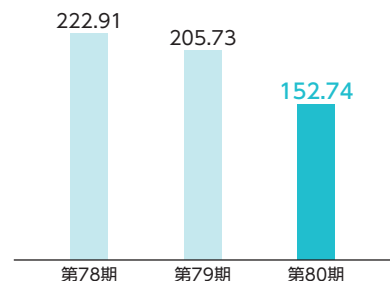
純資産 (単位：百万円)



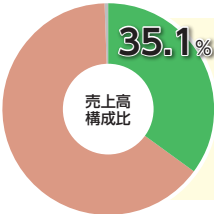
総資産 (単位：百万円)



1株当たり当期純利益 (単位：円)

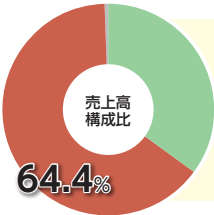


事業別概況



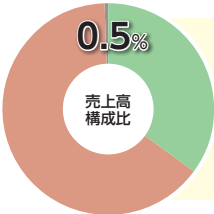
● アスファルト応用加工製品事業

アスファルト応用加工製品事業につきましては、「長寿命化・高性能化」や「環境負荷低減」を図る高付加価値製品の設計・受注活動の推進により、販売拡大と利益確保に努めてまいりましたが、依然として高値圏での推移が続く原材料価格の価格転嫁が追いつかず、売上高は25,937百万円（前期比4.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は5,140百万円（前期比14.5%減）となりました。



● 道路舗装事業

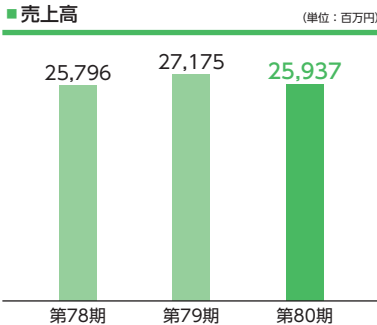
道路舗装事業につきましては、工事の発注遅れがありましたものの、防災・減災、国土強靱化対策に係る工法提案からの受注活動と工事の着実な執行に加え、資材等の価格高騰への対応や原価管理の強化に努めてまいりました。売上高は47,580百万円（前期比6.5%減）となり、セグメント利益（営業利益）は4,360百万円（前期比5.8%減）となりました。



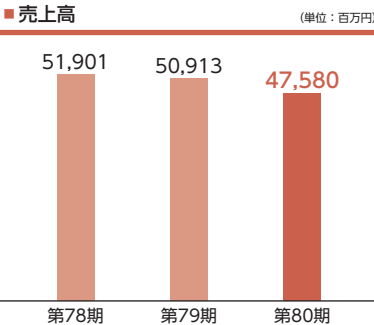
● その他

その他につきましては、不動産賃貸収入などにより、売上高は314百万円（前期比2.0%増）となり、セグメント利益（営業利益）は229百万円（前期比2.5%増）となりました。

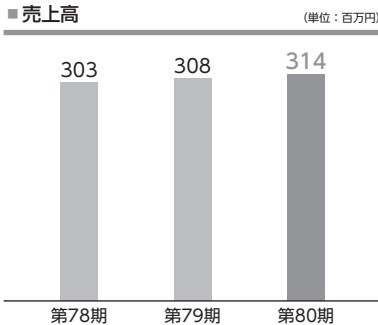
● アスファルト応用加工製品事業



● 道路舗装事業



● その他



青森県と共同で取り組む、「GLOCAL-EYEZ」^{※1}を活用した「予防保全型メンテナンスの構築を目指したAI舗装点検システムの開発」が2023年度土木学会「インフラメンテナンス チャレンジ賞」^{※2}を受賞

「GLOCAL-EYEZ」は、道路パトロールカーにスマートフォンを取り付けて、舗装道路を撮影するだけで、日々の道路パトロールと舗装の傷み具合の点検を同時に実施できる技術です。スマートフォンの撮影データはAI（人工知能）自動解析により、点検結果が即日を確認できるようになりました。

この度、青森県と共同で取り組む、「GLOCAL-EYEZ」を活用した「予防保全型メンテナンスの構築を目指したAI舗装点検システムの開発」が2023年度土木学会「インフラメンテナンス チャレンジ賞」を受賞しました。この取り組みでは、「GLOCAL-EYEZ」の撮影データを活用して、ポットホール（穴ぼこ）が発生する箇所を事前に予測するAIを開発し、穴ぼこができる前に計画的に舗装を直す予防保全型の道路管理を目指しています。

※1 東京大学長山教授の研究ロジックを基にした、(株)スマートシティ技術研究所とニチレキ(株)の共同開発システム

※2 土木学会主催の「点検・診断、設計、施工・マネジメント等の個別または組合せ技術を駆使し、地域のインフラメンテナンスに寄与した取り組み」および「創意工夫によりインフラメンテナンスに対する管理者、市民等ステークホルダーの意識の向上が認められた取り組み（市民協働、人材育成等を含む）」を表彰するもの

「予防保全型メンテナンスの構築を目指したAI舗装点検システムの開発（GLOCAL-EYEZ）」



土木学会委員会サイト：<https://committees.jsce.or.jp/maintesogo/node/24>
（最終版v4）2023年度インフラメンテナンス表彰制度_授賞決定のお知らせ参照

第35回 日本道路会議 論文賞受賞

この度、公益社団法人日本道路協会が主催する第35回日本道路会議（開催期間：2023年11月1日～2日）において、当社技術に関する論文2編が表彰されました。

【舗装部門 一般論文 口頭発表 優秀賞】

①舗装の長寿命化および低炭素化に寄与するポリマー改質アスファルトの開発

②車両内設置カメラを利用した路面わだち掘れ評価技術の開発

①は当社製品の「スーパーシナヤカファルト」の長寿命化や低炭素化への貢献度などをアピールしたもので、②は(株)スマートシティ技術研究所と共同開発した「GLOCAL-EYEZ」がわだち掘れ量やポットホール（穴ぼこ）の深さ推定に適用できることをアピールしたものです。

今後も技術研究開発の成果である製品の事例紹介を通して、環境に対する当社の取り組みに一層理解を深めていただけるよう努力してまいります。

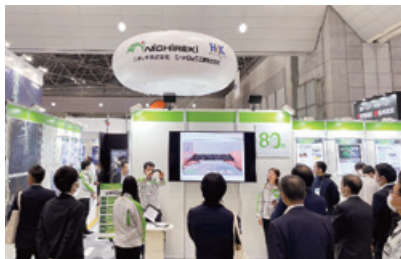


表彰式後の全体写真
(当社社員：2列目の左から5番目)



当社社員による論文発表の様子

ハイウェイテクノフェア2023への出展



「スーパーシナヤカファルト」プレゼンテーション

2023年11月9日～10日に東京ビッグサイトにて「ハイウェイテクノフェア2023」が開催されました。

今回で通算15回目の出展となり、ヒートロック工業と共同出展しました。高速道路、橋梁の長寿命化に寄与する製品・工法、点検DXシステムをメインに、「足すテナビリティ™」のキーワードとともにニチレキグループの舗装長寿命化技術の最新情報をご紹介しました。

高速道路の関係者や大手舗装業者の方も多く来場され、昨年に引き続き長寿命化・低炭素化に寄与する改質アスファルト（スーパーシナヤカファルト）の実際のサンプルを用いた性能体験コーナーおよびプレゼンテーションは特に賑わいを見せました。



ブース全景

令和5年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰

この度、2024年1月12日に厚生労働大臣より「令和5年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰」をニチレキグループ会社の岩手ニチレキ(株)職長千葉文男が受賞いたしました。

ニチレキグループの「安全に対する取組み」が、評価されたものと考えております。これからも付加価値の高い製品・工法を市場に提供するとともに、「安全」「安心」な「道」創りを目指してまいります。



連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第79期	第80期
資産の部		
流動資産	54,867	49,564
固定資産	36,606	45,529
有形固定資産	23,077	25,731
無形固定資産	704	1,202
投資その他の資産	12,823	18,595
資産合計	91,474	95,094
負債の部		
流動負債	17,650	17,865
固定負債	1,353	2,392
負債合計	19,003	20,258
純資産の部		
株主資本	69,713	70,140
資本金	2,919	2,919
資本剰余金	3,681	4,028
利益剰余金	64,236	66,200
自己株式	△1,124	△3,008
その他の包括利益累計額	2,756	4,695
その他有価証券評価差額金	2,127	3,565
繰越ヘッジ損益	66	—
為替換算調整勘定	152	202
退職給付に係る調整累計額	409	927
純資産合計	72,470	74,836
負債及び純資産合計	91,474	95,094

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第79期	第80期
売上高	78,397	73,832
売上原価	60,935	57,368
売上総利益	17,462	16,464
販売費及び一般管理費	9,896	10,444
営業利益	7,566	6,019
営業外収益	962	468
営業外費用	424	97
経常利益	8,104	6,390
特別利益	1,383	808
特別損失	249	358
税金等調整前当期純利益	9,238	6,840
法人税、住民税及び事業税	2,137	2,042
法人税等調整額	816	309
法人税等合計	2,954	2,352
当期純利益	6,284	4,488
親会社株主に帰属する当期純利益	6,284	4,488

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第79期	第80期
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,556	7,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,834	△3,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,115	△2,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	25
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,382	736
現金及び現金同等物の期首残高	27,091	24,709
現金及び現金同等物の期末残高	24,709	25,445

会社概要

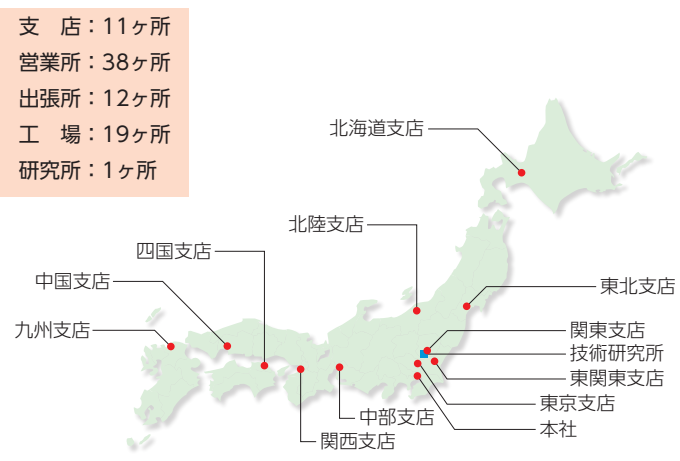
会社の概要 (2024年3月31日現在)

商 号 ニチレキ株式会社
本 社 所 在 地 東京都千代田区九段北四丁目3番29号
設 立 1949年9月
資 本 金 29億1千9百万円
従 業 員 数 977名 (連結)、455名 (単体)

主な事業内容

- アスファルト応用加工製品の製造・販売、建築・土木用資材の製造加工・販売
- 道路舗装工事・防水工事・上下水道工事ならびにその他の土木工事の請負およびこれらに関する調査・設計・監理
- 測量・地質調査
- コンピュータ情報サービス・ソフトウェアおよび情報処理機器の開発・販売
- 屋内外の各種表示および広告の企画・設計・施工ならびにこれらに使用する印刷物の製造および販売

事業所 (2024年4月1日現在)



取締役一覧 (2024年6月27日現在)

代表取締役社長	小 幡	学
代表取締役副社長	川 口	裕 司
専 務 取 締 役	羽 入	昭 吉
常 務 取 締 役	戸 塚	浩 行
取 締 役	山 本	淳 也
取 締 役	伊 藤	達 修
取 締 役 ※	小 林	也 子
取 締 役 ※	小 村	晴 子
取 締 役 ※	茨 城	琢 也
取 締 役 ※	福 田	美 詠
取締役 (監査等委員)	野 原	正 昭
取締役 (監査等委員) ※	蟹 谷	勉 子
取締役 (監査等委員) ※	川 手	典 子

※ 社外取締役であります。

主な子会社 (2024年4月1日現在)

- 北海道ニチレキ工事株式会社
東北ニチレキ工事株式会社
日瀝道路株式会社
日レキ特殊工事株式会社
中部ニチレキ工事株式会社
近畿ニチレキ工事株式会社
中国ニチレキ工事株式会社
四国ニチレキ工事株式会社
朝日工業テクノス株式会社
九州ニチレキ工事株式会社
ラインファルト工業株式会社

株式情報 (2024年3月31日現在)

株式の状況

●発行済株式総数および株主数

発行可能株式総数 90,000,000株
発行済株式の総数* 29,392,297株
株主数 11,193名

※ 自己株式2,293,658株を除く。

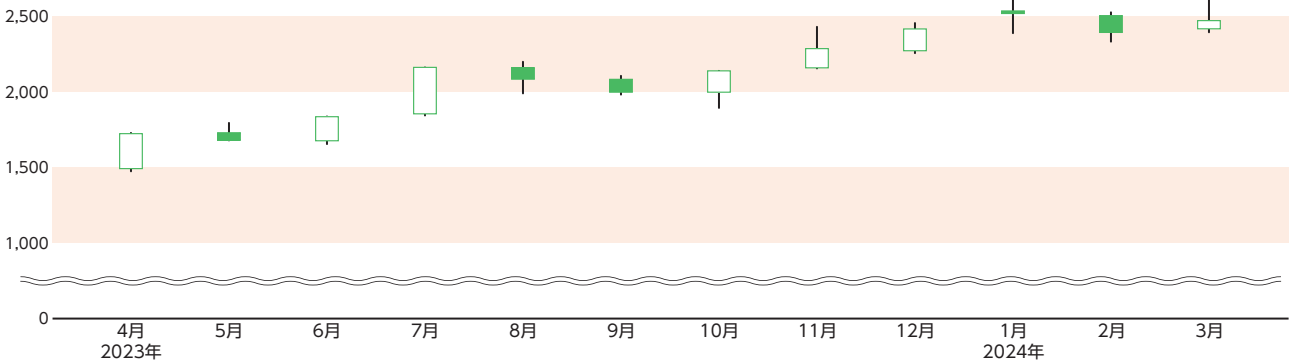
●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	3,018	10.27
MAPLES TRUSTEE SERVICES (CAYMAN) LIMITED (ACTING IN ITS CAPACITY AS TRUSTEE OF DUET)/GZ-1	2,252	7.66
ニチレキ取引先持株会	1,111	3.78
(株)みずほ銀行	1,108	3.77
三井住友信託銀行(株)	1,100	3.74
(株)日本カストディ銀行 (信託口)	936	3.19
THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LTD.	915	3.12
(公財) 池田20世紀美術館	630	2.14
(株)三菱UFJ銀行	529	1.80
(株)日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行 再信託分・鹿島道路株式会社退職給付信託口)	524	1.78

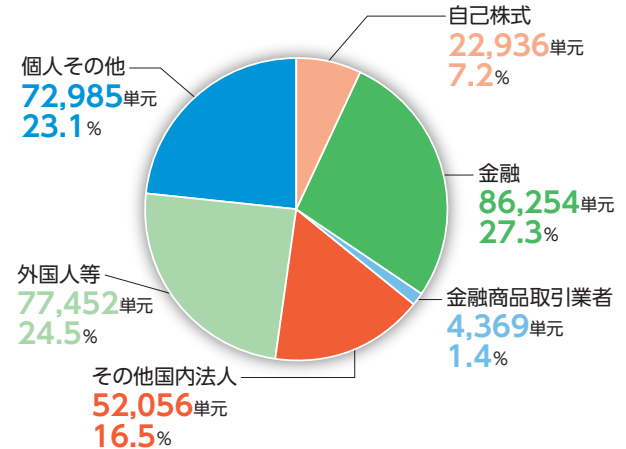
(注) 1. 当社は自己株式2,293,658株を保有しておりますが、上記には含まれておりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株価の推移

株価 (円)
3,000



所有者別株式分布状況



(注) 上記株式数および構成比率には、単元未満株式80,755株は含まれておりません。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで

単元株式数 100株

定時株主総会 毎年6月

期末配当基準日 毎年3月31日

公告方法 電子公告

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱所 168-0063

(郵便物送付先・
お問い合わせ先)
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部
Tel.0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

三井住友信託銀行株式会社のフリーダイヤルまたはホームページ

●フリーダイヤル 0120-782-031

●ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

ご注意

▶住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



「IR情報」サイトのご案内

当社ホームページの「IR情報」サイトでは、
株主・投資家の皆様向けの情報として、
決算発表資料等を適時掲載しております。
ぜひご利用ください。



URL: <https://www.nichireki.co.jp/investors/>

ニチレキ株式会社

<https://www.nichireki.co.jp/>

〒102-8222 東京都千代田区九段北4-3-29

TEL : 03-3265-1511 FAX : 03-3265-1510



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。